

30. 荒木やよい、池田陽子、高橋純子、森 和彦、上野盛夫、吉川晴菜、丸山悠子、今井浩二郎、木下 茂。酒石酸ブリモニジンへの変更による眼圧下降効果の検討。第25回日本緑内障学会。大阪。2014.9.19-21.
31. 森 千浩、池田陽子、森 和彦、中野恵美、津崎さつき、上野盛夫、今井浩二郎、吉川晴菜、丸山悠子、木下 茂。点眼補助具使用の有無による1日当たり平均点眼使用料の差の検討。第25回日本緑内障学会。大阪。2014.9.19-21.
32. 山本雄士、森 和彦、池田陽子、上野盛夫、吉川晴菜、今井浩二郎、木下 茂。トラベクレクトミー術後濾過胞形状に影響を及ぼす要因の検討。第25回日本緑内障学会。大阪。2014.9.19-21.
33. 今井浩二郎、森 和彦、稲富勉、池田陽子、上野盛夫、吉川晴菜、丸山悠子、木下 茂。線維柱帯切除後数年を経て発症した再発性デスメ膜剥離を前眼部OCTにて解析した一例。第25回日本緑内障学会。大阪。2014.9.19-21.
34. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、佐藤隆一、佐藤史子、吉井健悟、中野正和、木下 茂。早期結膜濾過胞機能不良に関連する因子の検討。第38回手術学会。京都。2015。1.31.
35. 中川紘子、中野正和、奥村直毅、池田陽子、上野盛夫、小泉範子、田代 啓、Baratz KH, Wieben ED, 木下 茂。フックス角膜内皮ジストロフィの日本人患者におけるTCF4遺伝子のCTG反復配列。角膜カンファレンス2015, 高知。2015.2.11-13.
36. 足立博子、富永洋之、丸山悠子、米田一仁、丸山和一、中野正和、木下 茂、田代 啓。出生前後のマウス網膜を用いた遺伝子発現解析のための相対定量PCR法の確立。第61回日本生化学会近

- 畿支部例会, 京都. 2014.5.17.
37. 田代 啓, 中野正和, 池田陽子, 徳田雄市, 上野盛夫, 今井浩二郎, 佐藤隆一, 大見奈津江, 足立博子, 森 和彦, 木下 茂. 落屑症候群／落屑緑内障のゲノムワイド関連解析. 第87回日本生化学会大会, 京都 .2014.10.15-18.
38. 池田陽子, 森 和彦, 上野盛夫, 中野正和, 吉井健悟, 徳田雄市, 大見奈津江, 佐藤隆一, 田代啓, 木下 茂. 正常者におけるCDKN2B-AS1のジェノタイプ別臨床データの解析. 第117回日本眼科学会総会 . 東京.2013.4.4-7.
39. 吉川晴菜, 池田陽子, 吉井健悟, 森 和彦, 上野盛夫, 丸山悠子, 中野正和, 大見奈津江, 徳田雄市, 田代 啓, 木下 茂. 正常眼圧緑内障患者における血液生化学的データの解析. 第117回日本眼科学会総会 . 東京 . 2013.4.4-7.
40. 中山知倫, 森 和彦, 池田陽子, 上野盛夫, 吉川晴菜, 丸山悠子, 木下 茂. 屈折変化に伴う視神経乳頭形状解析上の問題点の検討. 第117回日本眼科学会総会. 東京. 2013.4.4-7.
41. 丸山悠子, 森 和彦, 吉川晴菜, 上野盛夫, 池田陽子, 木下 茂. 随意的眼球運動に伴う眼圧変動の解析. 第117回日本眼科学会総会. 東京. 2013.4.4-7.
42. 石田 学, 池田陽子, 森 和彦, 上野盛夫, 丸山悠子, 吉川晴菜, 木下 茂. 正常健常者における視神経乳頭面積分布の検討. 第67回日本臨床眼科学会. 横浜. 2013.10.31-11.3
43. 池田陽子, 森 和彦, 上野盛夫, 吉川晴菜, 加藤浩晃, 丸山悠子, 吉井健悟, 木下 茂. 正常者前房隅角形状の加齢に伴う変化の検討. 第67回日本臨床眼科学会. 横浜. 2013.10.31-11.3.
44. 森 和彦, 上野盛夫, 池田陽子,

- 吉川晴菜、丸山悠子、加藤浩晃、
木下 茂. 京滋地区における過
去7年間の緑内障薬物処方状況
の検討. 第67回日本臨床眼科学
会. 横浜. 2013.10.31-11.3.
45. 津崎さつき、池田陽子、森 和
彦、上野盛夫、吉川晴菜、丸山
悠子、高橋純子、木下 茂. 初
回選択的レーザー線維柱帯形成
術による眼圧下降効果の病型別
検討. 第24回日本緑内障学会.
東京. 2013.9.21-23.
46. 吉川晴菜、池田陽子、森 和彦、
上野盛夫、加藤浩晃、吉井健悟、
木下 茂. 落屑緑内障と原発開
放隅角緑内障患者における加齢
性前房隅角形状変化の比較検討.
第24回日本緑内障学会. 東京.
2013.9.21-23.
47. 杉浦晃祐、森 和彦、吉川晴菜、
丸山悠子、池田陽子、上野盛夫、
小泉範子、木下 茂. 緑内障眼
における黄斑部網膜神経節細胞
複合体層厚と網膜深層厚の検討.
第24回日本緑内障学会. 東京.
2013.9.21-23.
48. 高橋純子、森 和彦、加藤浩晃、
池田陽子、上野盛夫、山村麻里
子、木下 茂. 中心視野障害を
有する緑内障患者の視野障害程
度と読字能の関連性の検討.
第24回日本緑内障学会. 東京.
2013.9.21-23.
49. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、
吉川晴菜、加藤浩晃、丸山悠子、
吉井健悟、中野正和、田代 啓、
木下 茂. 落屑緑内障患者にお
ける血液生化学的データの解析.
第24回日本緑内障学会. 東京.
2013.9.21-23.
50. 大見奈津江、徳田雄市、池田陽
子、森 和彦、上野盛夫、佐藤
龍一、中野正和、木下 茂. 緑
内障研究資源を安定的に確保す
るための微量血液からの細胞株
樹立法の確立. 第24回日本緑内
障学会. 東京. 2013.9.21-23.
51. 森 和彦、池田陽子、上野盛夫、

吉川晴菜、丸山悠子、木下 茂.
虹彩角膜内皮症候群に対するエ
クスプレスフィルトレーション
デバイスを用いた濾過手術. 第
37回日本眼科手術学会. 京都.
2014.1.17-19.

52. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、
吉川晴菜、丸山悠子、木下 茂.
線維柱帯切除術後のプロスタグ
ランジン製剤点眼中止に伴う中
心角膜厚変化の検討. 第37回日
本眼科手術学会. 京都.
2014.1.17-19.

田代 啓

1 論文発表

1. Aung T et al. (Nakano M, Mori
K, Kinoshita S, Tashiro K) A
common variant mapping to
CACNA1A is associated with
susceptibility to exfoliation
syndrome. *Nat Genet.* 2015
Feb 23. doi: 10.1038/ng.3226.
2. Nakano M, Ikeda Y, Tokuda Y,
Fuwa M, Ueno M, Imai K, Sato

R, Omi N, Adachi H,
Kageyama M, Mori K,
Kinoshita S, Tashiro K. Novel
common variants and
susceptible haplotype for
exfoliation glaucoma specific to
Asian population. *Sci. Rep.*, 4:
5340, 2014.

3. Tokuda Y, Tanaka M, Yagi T,
Tashiro K. The defect of
SFRP2 modulates an influx of
extracellular calcium in B
lymphocytes. *BMC Res. Notes*,
7: 780, 2014.
4. Ishida K, Yagi T, Tanaka M,
Tokuda Y, Kamoi K, Hongo F,
Kawauchi A, Nakano M, Miki
T, Tashiro K. Identification of
a novel gene by whole human
genome tiling array. *Gene*,
516: 33-38, 2013.
5. Tokuda Y, Yagi T, Yoshii K,
Ikeda Y, Fuwa M, Ueno M,
Nakano M, Omi N, Tanaka M,
Mori K, Kageyama M,
Nagasaki I, Yagi K, Kinoshita
S, and Tashiro K. An

- approach to predict the risk of glaucoma development by integrating different attribute data. SpringerPlus 1: 41 2012,
6. Komori M, Matsuyama Y, Nirasawa T, Thiele H, Becker M, Alexandrov T, Saida T, Tanaka M, Matsuo H, Tomimoto H, Takahashi R, Tashiro K, Ikegawa M, and Kondo T. Proteomic pattern analysis discriminates among multiple sclerosis-related disorders. Ann. Neurol., 71: 614-623, 2012.
 7. Ishigami N, Tokuda T, Ikegawa M, Komori M, Kasai T, Kondo T, Matsuyama Y, Nirasawa T, Thiele H, Tashiro K, and Nakagawa M. Cerebrospinal fluid proteomic patterns discriminate Parkinson's diseases and multiple system atrophy. Movement Disorders, 27: 851-857 2012,
 8. Nakano M, Ikeda Y, Tokuda Y, Fuwa M, Omi N, Ueno M, Imai K, Adchi H, Kageyama M, Mori K, Kinoshita S, and Tashiro K. Common variants in *CDKN2B-AS1* associated with optic-nerve vulnerability of glaucoma identified by genome-wide association studies in Japanese, PLoS ONE 7: e33389 2012,
 9. Ueta M, Tamiya G, Tokunaga K, Sotozono C, Ueki M, Sawai H, Inatomi T, Matsuoka T, Akira S, Narumiya S, Tashiro K, and Kinoshita S, Epistatic interaction between Toll-like receptor 3 (TLR3) and prostaglandin E receptor 3 (PTGER3) genes, J, Allergy Clin, Immunol, 129: 1413-1416 2012,

2 学会発表

1. Tashiro K. Genetics study of POAG. Kyoto International Workshop in Visual Science 2015, Kyoto (Feb. 20, 2015).
2. Nakano M, Ikeda Y, Tokuda Y, Adachi H, Ueno M, Imai K, Sato R, Omi N, Mori K, Kinoshita S, Tashiro K. Genome-wide association study of exfoliation syndrome/exfoliation glaucoma in a Japanese population. 64th Annual Meeting of the American Society of Human Genetics, San Diego (Oct. 18-22, 2014).
3. Ikeda Y, Mori K, Ueno M, Nakano M, Tokuda Y, Omi N, Sato R, Yoshii K, Tashiro K, Kinoshita S. Association Analysis between CDKN2B-AS1 Genotype and Quantitative Traits of Primary Open-Angle Glaucoma. 11th European Glaucoma Congress (EGS), Nice (Jun. 7-11, 2014)
4. Yamamoto Y, Ikeda Y, Mori K, UenoM, Yoshikawa H, Maruyama Y, Yoshii K, NakanoM, Tashiro K, Kinoshita S. Analysis of Biochemical Markers in Pseudoexfoliation Glaucoma Patients. 11th EGS, Nice (Jun. 7-11, 2014)
5. Ikeda Y, Mori K, Ueno M, Nakano M, Tokuda Y, Omi N, Sato R, Yoshii K, Tashiro K, Kinoshita S. Association Analysis between CDKN2B-AS1 Genotype and Quantitative Traits of Primary Open-Angle Glaucoma. Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology, Florida (May 4-8, 2014).
6. Li Z, Khor CC, Ikeda Y, Jia L, Chen LJ, Nakano M, George R, Do T, Abu-Amero K, Tajudin LS, Kee C, Mineo O, Takanori M, Zhang M, Jonas JB, Chau TN, Fuse N, Wong TY, Liu JJ, Garway-Heath DF, Simmons CP, Vijaya L, Kinoshita S, Pang CP, Wang

- NL, Allingham RR, Hauser MA, Tashiro K, Aung T, Vithana EN. Exome-wide association study identifies a novel locus associated with primary open angle glaucoma. Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology, Florida (May 4-8, 2014).
7. Ueno M, Ikeda M, Mori K, Tashiro K, Kinoshita S. Analysis of Hematological and Biochemical Data in Normal Tension Glaucoma Patients. World Ophthalmology Congress, Tokyo (Apr. 2-6, 2014).
8. 中川紘子, 中野正和, 奥村直毅, 池田陽子, 上野盛夫, 小泉範子, 田代 啓, Baratz KH, Wieben ED, 木下 茂. フックス角膜内皮ジストロフィの日本人患者におけるTCF4遺伝子のCTG反復配列. 角膜カンファレンス2015, 高知 (2015年2月11日-13日).
9. 足立博子, 富永洋之, 丸山悠子, 米田一仁, 丸山和一, 吉井健悟, 木下 茂, 中野正和, 田代 啓. 発達段階の異なるマウス網膜を用いた相対定量PCR法の確立, 第4回4大学連携研究フォーラム, 京都 (2014年12月2日).
10. 池田陽子, 森 和彦, 上野盛夫, 今井浩二郎, 中野正和, 徳田雄市, 吉井健悟, 佐藤隆一, 田代 啓, 木下 茂. 1000Kマイクロアレイによる落屑緑内障のゲノムワイド関連解析. 第68回日本臨床眼科学会, 神戸 (2014年11月13日-16日).
11. 田代 啓, 中野正和, 池田陽子, 徳田雄市, 上野盛夫, 今井浩二郎, 佐藤隆一, 大見奈津江, 足立博子, 森 和彦, 木下 茂. 落屑症候群/落屑緑内障のゲノムワイド関連解析. 第87回日本生化学会大会, 京都 (2014年10月15日-18日).

12. 大見奈津江, 徳田雄市, 池田陽子, 中野正和, 田代 啓. 微量血液からの不死化B細胞株樹立における過剰抗凝固剤の影響の検討. 第87回日本生化学会大会, 京都 (2014年10月15日-18日).
13. 徳田雄市, 田中雅深, 八木知人, 田代 啓. Sfrp2の欠損によるBリンパ球のカルシウムシグナリングへの影響. 第87回日本生化学会大会, 京都 (2014年10月15日-18日).
14. 上野盛夫, 池田陽子, 森 和彦, 中野正和, 大見奈津江, 佐藤隆一, 佐藤史子, 吉井健悟, 田代 啓, 木下 茂. CDKN2B-AS1ジェノタイプと原発開放隅角緑内障の量的形質との相関解析. 第25回日本緑内障学会, 大阪 (2014年9月19日-21日).
15. 池田陽, 森 和彦, 上野盛夫, 今井浩二郎, 吉井健悟, 佐藤隆一, 佐藤史子, 中野正和, 田代 啓, 山崎俊秀, 木下茂. 広義原発開放隅角緑内障の過去16年間の経時的眼圧推移. 第25回日本緑内障学会, 大阪 (2014年9月19日-21日).
16. 足立博子, 富永洋之, 丸山悠子, 米田一仁, 丸山和一, 中野正和, 木下 茂, 田代 啓. 出生前後のマウス網膜を用いた遺伝子発現解析のための相対定量PCR法の確立, 第61回日本生化学会近畿支部例会, 京都 (2014年5月17日).
17. Li Z, Khor CC, Ikeda Y, Jia L, Chen LJ, Nakano M, GeorgeR, Do T, Abu-Amero, K, Tajudin LS, Kee C, Mineo O, Takanori M, Zhang M, Jonas JB, Chau T N, Fuse N, Wong TY, Liu JJ, Garway-Heath DF, Simmons CP, Vijaya L, Kinoshita S, Pang CP,

- Wang NL, Allingham RR, Hauser MA, Tashiro K, Aung T, Vithana EN. Exome-wide association study for the identification of genes for primary open angle glaucoma (POAG) 63rd Annual Meeting of the American Society of Human Genetics, Boston (Oct. 22-26, 2013).
18. Ikeda Y, Mori K, Ueno M, Imai K, Omi N, Adachi H, Tokuda Y, Nakano M, Tashiro K, Kinoshita S. Analysis of ophthalmic clinical data association for CDKN2B-AS1 genotype in normal subjects Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology, Seattle (May 5-9, 2013).
19. 徳田雄市, 田中雅深, 八木知人, 田代 啓. SFRP2の欠損によるリンパ球のカルシウム流動への影響, 第36回日本分子生物学会年会, 神戸 (2013年12月3日-6日).
20. 大見奈津江, 徳田雄市, 池田陽子, 森 和彦, 上野盛夫, 佐藤隆一, 中野正和, 木下茂, 田代 啓. 緑内障研究資源を安定的に確保するための微量血液からの細胞株樹立法の確立 第24回日本緑内障学会, 東京 (2013年9月21日-23日).
21. 池田陽子, 森 和彦, 上野盛夫, 吉川晴菜, 加藤浩晃, 丸山悠子, 吉井健悟, 中野正和, 田代 啓, 木下 茂. 落屑緑内障患者における血液生化学的データの解析 第24回日本緑内障学会, 東京 (2013年9月21日-23日).
22. 足立博子, 富永洋之, 丸山悠子, 米田一仁, 丸山和一, 木下

- 茂, 中野正和, 田代 啓. 出生前後のマウス網膜における網羅的遺伝子発現データを用いた新規血管新生関連遺伝子ネットワークの探索, 第86回日本生化学会大会, 横浜 (2013年9月11日-13日).
23. 徳田雄市, 田中雅深, 石田博万, 八木知人, 三木恒治, 田代 啓. DNAアレイを用いた転写産物解析による2つの遺伝子の同定, 第86回日本生化学会大会, 横浜 (2013年9月11日-13日).
24. 足立博子, 富永洋之, 丸山悠子, 米田一仁, 丸山和一, 木下茂, 中野正和, 田代 啓. 発生過程のマウス網膜における定量PCR解析に最適ナリファレンス遺伝子の検討, 第60回日本生化学会近畿支部例会, 大阪 (2013年5月18日).
25. 吉川晴菜, 池田陽子, 吉井健悟, 森 和彦, 上野盛夫, 丸山悠子, 中野正和, 大見奈津江, 徳田雄市, 田代 啓, 木下 茂. 正常眼圧緑内障患者における血液生化学的データの解析 第117回日本眼科学会, 東京 (2013年4月4日-7日).
26. 池田陽子, 森 和彦, 上野盛夫, 中野正和, 吉井健悟, 徳田雄市, 大見奈津江, 佐藤隆一, 田代 啓, 木下 茂. 正常者におけるCDKN2B-AS1のジェノタイプ別臨床データの解析 第117回日本眼科学会, 東京 (2013年4月4日-7日).
27. Nakano M, Ikeda Y, Tokuda Y, Fuwa M, Omi N, Adachi H, Ueno M, Mori K, Kinoshita S, and Tashiro K. Common genetic variants of primary open-angle glaucoma in Japanese population, 62nd Annual Meeting of the American Society of Human Genetics.

- San Francisco (Nov. 6-10, 2012).
28. Ikeda Y, Mori K, Ueno M, Imai K, Nakano M, Fuwa M, Yoshii K, Yagi Y, Tokuda Y, Tashiro K, and Kinoshita S. Association of risk alleles of glaucoma marker SNPs with morphological characters of the optic disc. 10th Congress of the European Glaucoma Society (EGS) Copenhagen Denmark (June.18-22, 2012).
 29. Mori K, Ikeda Y, Ueno M, Imai K, Nakano M, Tokuda Y, Omi N, Adachi H, Tashiro K, and Kinoshita S. Genome-wide association study on primary open-angle glaucoma with a 1000K gene chip. Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology Florida (May 6-10 2012),
 30. Maruyama Y, Mori K, Yoshii H, Yoshikawa H, Ikeda Y, Ueno M, Tashiro K, Kinoshita S. Analysis of Hematological and Biochemical Data in Primary Open - Angle Glaucoma Patients. Asia Pacific Glaucoma Congress. Bali, Indonesia (Dec.7-9 2012)
 31. 徳田雄市、田中雅深、石田博、八木知人、三木恒治、田代啓。HECTドメインを有する新規遺伝子の研究。第85回日本生化学会大会。福岡。2012。12. 15
 32. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、中野正和、徳田雄市、大見奈津江、佐藤隆一、田代 啓、木下

- 茂. CDKN2B-AS1の病型別原
発開放隅角緑内障全ゲノム関
連解析, 第66回日本臨床眼科
学会.京都.2012.10.25-28
33. 森 和彦、池田陽子、上野
盛夫、今井浩二郎、中野正
和、徳田雄市、佐藤隆一、
足立博子、田代 啓、木下
茂. 原発開放隅角緑内障の
1000Kチップによる全ゲノム
関連解析. 第66回日本臨床眼
科学会. 京都. 2012.10.25-28.
34. 吉井健悟、池田陽子、森 和
彦、上野盛夫、丸山悠子、
吉川晴菜、中野正和、大見
奈津江、徳田雄市、田代
啓、木下 茂. 原発開放隅
角緑内障患者における血液生
化学データの解析. 第23回日
本緑内障学会. 金沢 .
2012.9.28-30
35. 足立博子、丸山悠子、米田一
仁、丸山和一、木下 茂、中
野正和、田代 啓. 網膜にお
ける血管新生に関連する遺伝
子の網羅的発現解析. 第59回
日本生化学会近畿支部例会.
京都. 2012.5.19
- 長崎 生光
- 1 論文発表
1. Nagasaki I and Ushitaki F. On
G-bi-isovariant equivalence
between G-representation
spaces, 数理解析研究所講究録
1922: 60-64, 2014.
2. Nagasaki I. Remarks on
equivariant and isovariant
maps between representations,
Studia Humana et Naturalia
47: 61-67, 2013.
3. Tokuda Y, Yagi T, Yoshii K,
Ikeda Y, Fuwa M, Ueno M,
Nakano M, Omi N, Tanaka M,
Mori K, Kageyama M,
Nagasaki I, Yagi K, Kinoshita
S, and Tashiro K. An approach
to predict the risk of glaucoma

- development by integrating different attribute data. SpringerPlus, 1: 41, 2012.
4. 長崎生光, 牛瀧文宏. On Borsuk-Ulam groups 「変換群の幾何の展開」. 数理解析研究所講究録, 1816: 36-43, 2012.
 5. Nagasaki, I. Homotopy classification of maps from a closed manifold to the complement of a subspace arrangement. *Studia Humana et Naturalia*, 46, 2012.
- 2 学会発表
1. Nagasaki I. Isovariant Borsuk-Ulam type theorems and isovariant maps between representation spaces, Joint Meeting of the German Mathematical Society (DMV) and the Polish Mathematical Society (PTM), Adam Mickiewicz University, Poznan, Poland, 2014. 9. 18.
 2. Nagasaki I. On bi-isovariantly equivalent representations, 第41回変換群論シンポジウム, 蒲郡, 2014. 11. 17.
 3. Nagasaki I. Isovariant maps and strong Borsuk-Ulam groups. Symposium: Knots, Manifolds and Group Actions, Slubice, Poland, 2013. 9. 12.
 4. 長崎生光, 牛瀧文宏. ボルスクウラム群について. RIMS研究集会「変換群の幾何の展開」, 京都, 2012. 5. 29.
 5. Nagasaki, I. On the existence and non-existence of isovariant maps between representation spaces. *Geometry of Manifolds and Group Actions*, Gdansk, Poland, 2012. 9. 7.
 6. Nagasaki, I. The isovariant Borsuk-Ulam theorem and its related topics.

Symposium: Structures and Symmetries on Manifolds,

那覇, 2013. 3. 12.

田中光一

1. 論文発表

1. Hayashi, H., Eguchi, Y., Fukuchi-Nakanishi, Y., Takeya, M., Nakagata, N., Tanaka, K., Vance, J.E., and Tanihara, H. A potential therapeutic function of apolipoprotein E-containing lipoproteins for normal tension glaucoma. *J. Biol. Chem.*, 287: 25395-25406, 2012.
2. 田中光一. 精神神経疾患におけるグルタミン酸トランスポーターの役割, *細胞工学*, 31: 580-585, 2012.
3. Bai, N., Aida, T., Yanagisawa, M., Katou, S., Sakimura, K., Mishina, M., Tanaka K. NMDA receptor subunits have differential roles in NMDA-induced neurotoxicity in the retina. *Mol Brain* 6. 34, 2013.
4. Namekata, K., Kimura, A., Kawamura, K., Guo, X., Harada, C., Tanaka, K., Harada, T. Dock3 attenuates neural cell death due to NMDA neurotoxicity and oxidative stress in a mouse model of normal tension glaucoma. *Cell Death Differ* 20. 1250-1256, 2013.
5. Bai, N., Hayashi, H., Aida, T., Namekata, K., Harada, T., Mishina, M., Tanaka, K. Dock3 interaction with a glutamate-receptor NR2D subunit preprotects neurons from excitotoxicity. *Mol Brain* 6. 22, 2013.
6. 田中光一: 精神神経疾患とグルタミン酸神経伝達:基礎医学的観

- 点から、*脳*21、16:310-315, 2013
7. Aida, T., Imahashi, R., Tanaka, K. Translating human genetics into mouse: The impact of ultra-rapid in vivo genome editing. *Develop Growth Differ* 56. 34-45, 2014.
 8. Yanagisawa, M., Aida, T., Takeda, Namekata, K., Harada, T., Shinagawa, R., Tanaka, K. Arundic acid attenuates retinal ganglion cell death by increasing glutamate/aspartate transporter (GLAST) expression neural cell death in a model of normal tension glaucoma. *Cell Death Dis* (in press).
 9. Kimura, A., Guo, X., Noro, T., Harada, C., Tanaka, K., Namekata, K., Harada, T Valproic acid prevents retinal degeneration in a murine model of normal tension glaucoma. *Neurosci Lett* 588. 108-113, 2015.
2. 学会発表
 1. 白 寧、相田 知海、林 秀樹、行方 和彦、原田 高幸、田中 光一 NMDA受容体NR2Dサブユニットと相互作用する蛋白質Dock3の同定と機能解析 第35回日本神経科学大会 名古屋 2012/09/18 (Poster)
 2. 田中光一 ; 精神神経疾患におけるグルタミン酸トランスポーターの役割、シンポジウム「分子標的トランスポーター」第85回日本生化学会大会、平成24年12月15日、福岡国際会議場
 3. Tanaka K.; The role of glutamate transporters in the pathogenesis of glaucoma. The 7th international symposium of the Institute network June 15, 2012 Tohoku University, Sendai Japan.

4. Tanaka K; genetic animal models of neuropsychiatric disorders. International Summer program 2012, 28 August, 2012, Tokyo Medical & Dental University, Tokyo Japan.
5. 田中光一 遺伝子改変動物の問題点と限界、シンポジウム「ゲノム編集の進歩と生理学研究への応用」第91回日本生理学大会、平成26年3月16日、宮崎
6. 田中光一 ; グリア型グルタミン酸トランスポーターの精神神経疾患における役割、シンポジウム「神経伝達物質トランスポーター研究の最前線」第86回日本薬理学会年会、平成25年3月22日、福岡国際会議場
7. 今橋理沙、相田知海、張景ほう、佐久間哲史、宇佐見貴子、石久保春美、Pawel Obrocki、山本卓、田中光一 ; 高速・高効率in vivo ゲノム編集によるノックインマウス作出、第37回日本神経科学大会、平成26年9月12日、パシフィコ横浜
8. 今橋理沙、相田知海、柳澤美智子、佐久間哲史、宇佐見貴子、石久保春美、山本卓、田中光一 ; グルタミン酸トランスポーターGLASTのヒトレアバリエントは網膜神経節細胞の脆弱性にin vivoで寄与する、第37回日本分子生物学会年会、平成26年11月26日、パシフィコ横浜
- 森 和彦
1. 論文発表
1. Aung T et al. (Nakano M, Mori K, Kinoshita S, Tashiro K) A common variant mapping to CACNA1A is associated with susceptibility to exfoliation syndrome. Nat Genet. 2015 Feb 23. doi: 10.1038/ng.3226.
2. Nakano M, Ikeda Y, Tokuda Y, Fuwa M, Ueno M, Imai K, Sato R, Omi N, Adachi H,

- Kageyama M, Mori K, Kinoshita S, Tashiro K. Novel common variants and susceptible haplotype for exfoliation glaucoma specific to Asian population. *Sci Rep*. 2014 Jun 18; 4: 5340. doi: 10.1038/srep05340.
3. Maruyama Y, Mori K, Ikeda Y, Ueno M, Kinoshita S. Morphological analysis of age-related iridocorneal angle changes in normal and glaucomatous cases using anterior segment optical coherence tomography. *Clinical Ophthalmology*, 8: 113–118, 2014.
 4. Maruyama Y, Mori K, Ikeda Y, Ueno M, Kinoshita S. Morphological analysis of age-related iridocorneal angle changes in normal and glaucomatous cases using anterior segment optical coherence tomography. *Clinical Ophthalmology* 2014;8: 1–6
 5. Maruyama Y, Mori K, Ikeda Y, Ueno M, Kinoshita S. Effects of Long-Term Topical Prostaglandin Therapy on Central Corneal Thickness. *J Ocul Pharmacol Ther*. 2014 Apr 16. [Epub ahead of print]
 6. Yamamoto T, Sawada A, Mayama C, Araie M, Ohkubo S, Sugiyama K, Kuwayama, on behalf of The Collaborative Bleb-Related Infection Incidence and Treatment Study Group. The 5-Year Incidence of Bleb-Related Infection and Its Risk Factors after Filtering Surgeries with Adjunctive Mitomycin C Collaborative Bleb-Related Infection Incidence and

- Treatment Study 2
Ophthalmology 2014; 121:
1001-1006
7. 森 和彦.角膜疾患関連続発緑内障への対処法. あたらしい眼科 32(1): 83~90, 2015
8. 吉川晴菜、池田陽子、外園千恵、森 和彦、上野盛夫、木下 茂. 先天角膜混濁の超音波生体顕微鏡所見と臨床診断および眼圧の関係. 日本眼科学会雑誌 119(1):16-21,2015
9. 日野智之、森 和彦：緑内障と白内障同時手術派 ,IOL&RS Vol.28 No.4 :431-434,日本白内障屈折矯正手術学会雑誌編集部,Dec 2014
10. 張 祐子, 森 和彦：A 手術テクニックと手術用隅角鏡, 粘弾性物質. 第4章 原発閉塞隅角緑内障に対する治療, IV.隅角癒着解離術, 眼科臨床エキスパート All About閉塞隅角緑内障 (澤口昭一、谷原秀信編) 185-194, 医学書院, 東京, 2014
11. 丸山悠子, 森 和彦：角膜疾患に続発する緑内障, IV 病型別診断と治療／続発緑内障, 緑内障診療クローズアップ (木内良明編) 242-247, メジカルビュー社, 東京, 2014
12. 多田香織, 森 和彦：続発緑内障の画像診断, 4 緑内障での使い方, 専門医のための眼科診療クオリファイ24 前眼部の画像診断 (前田直之編) 321-325, 中山書店, 東京, 2014
13. 森 和彦：8. 合剤 (こうざい) の功罪 (こうざい), 連載 私の緑内障薬チョイス, あたらしい眼科 31(1): 69-70, 2014
14. 成瀬繁太, 森 和彦：複数の点眼剤投与時の注意点, 特集点眼剤を実践活用するためのポイント2, 薬局 65(5): 1809-1812, 2014
15. Yamamoto T, Kuwayama Y, Nomura E, Tanihara H and

- Mori K. Changes in visual acuity and intra-ocular pressure following bleb-related infection: the Japan Glaucoma Society Survey of Bleb-related Infection Report2. *Acta Ophthalmologica*, 91: e420-426, 2013.
16. 多田 香織、上野 盛夫、森 和彦、池田 陽子、今井 浩二郎、木下 茂. 白内障術後に生じた遅発型水晶体起因性続発緑内障の4例. *あたらしい眼科*. 30: 569-572, 2013.
17. 加藤 弘明、森 和彦、池田 陽子、生島 徹、小林 ルミ、今井 浩二郎、木下 茂. 円蓋部基底線維柱帯切除術後における留置糸に関連した微小膿瘍様病変の検討. *あたらしい眼科*. 30: 401-404, 2013.
18. 丸山悠子、池田陽子、森 和彦. 目のまわりの病気とその治療. *アトピー性皮膚炎：ステロイド緑内障に対する緑内障手術後に生じた濾過胞感染からの眼内炎*. *Visual Dermatology*. Vol. 12. (2) 150-151, 2013
19. Tokuda Y, Yagi T, Yoshii K, Ikeda Y, Fuwa M, Ueno M, Nakano M, Omi N, Tanaka M, Mori K, Kageyama M, Nagasaki I, Yagi K, Kinoshita S, and Tashiro K. An approach to predict the risk of glaucoma development by integrating different attribute data. *SpringerPlus* 1: 41, 2012.
20. Nakano M, Ikeda Y, Tokuda Y, Fuwa M, Omi N, Ueno M, Imai K, Adchi H, Kageyama M, Mori K, Kinoshita S, and Tashiro K. Common variants in CDKN2B-AS1 associated with optic-nerve vulnerability of glaucoma identified by genome-wide association studies in Japanese. *PLoS*

- ONE 7: e33389 2012.
21. 森 和彦. 隅角癒着解離術 眼手術学 6 緑内障 298-301, 文光堂, 2012.
22. 池田陽子、森 和彦. 繊維柱帯切除術 角膜移植後 眼手術学 6 緑内障 163-168, 文光堂, 2012.
23. 吉川晴菜、森 和彦、池田陽子、上野盛夫、木下 茂. 3種類の緑内障視野進行判定プログラムの比較検討.あたらしい眼科. 29(6): 840-843, 2012.
24. 中野正和、池田陽子、森 和彦. 緑内障セミナー. 「緑内障 Genome-Wide Association Study 最新の知見: 2. 次世代シーケンサーをいかに活用するか」あたらしい眼科. 29: 355-357, 2012.
25. 池田陽子、中野正和、森 和彦. 緑内障セミナー, 「緑内障 Genome-Wide Association Study 最新の知見: 1. どう見て、どう考えるか」あたらしい眼科. 29: 209-210, 2012.
26. 森 和彦. トラベクトミー①② 新ES NOW 眼科手術のトラブルシューティング 124-129, MEDICAL VIEW, 2012.
27. 多田香織, 森 和彦. 緑内障術後 (ステロイド、抗菌薬、眼圧下降薬など) 眼科 薬物療法 (眼科 .54.No.10) ,1326-1331, 金原出版, 2012.
2. 学会発表
1. Mori K, Ikeda Y, Ueno M, Imai K, Kinoshita S. Aqueous shunt surgery using the EX-PRESS® glaucoma filtration device for glaucoma secondary to iridocorneal endothelial syndrome. 7th International Congress on Glaucoma Surgery ICGS Singapore 2014.
2. Yoshikawa H, Ueno M, Nagase M, Ikeda Y, Mori K, Hamuro J, Yamamoto Y, Naito Y,